

郵便旗



この旗はあまり知られていませんが、明治20年に現在の〒マークが制定される前の郵便の旗です。

串団子みたいなこのデザインが正式に定められたのは明治17年ですが、この旗は既に創業期から郵便船や郵便馬車などで使用されており、そのマークは郵便集配員の帽子や制服にも付けられていました。

(表紙解説)

東海道五拾三次之内 江尻 三保遠望

海に長く突き出た砂州は天の羽衣で有名な三保の松原で、何隻もの船が繁留されている内海は清水の二郎長で有名な清水港である。

江戸・大阪へ向かう船や入港して来る船の白い帆が水平線まで続いている。

(資料紹介・表紙解説 附属資料館 井上卓朗)